

箱根組ニュース

第357号 2023年 1月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

日差し一杯の飯能河原焚火芋煮会に10名。6名は朝のうちに天覧山往復もする。

12月18日、日曜日、西武池袋線池袋駅に集まったのは、神山、太田、星野（幸）、星野（絵）、和田、宗像、川名夫人、布施、神吉、戸丸の10名。

8時発の急行飯能行きに乗車。快晴の中、快適に電車は走る。

飯能駅に8時39分着。駅のトイレが長い行列なのでバス停奥の公衆トイレへ向かう。

9時5分、改めて飯能駅北口から出発。左方向西側に向かつて駅に沿うように進んでいく。住宅地の間の車道を歩いてゆく。信号のある十字路をまっすぐ行くと飯能河原の赤い橋に着くのだが、交差点に通行止めの看板が立っている。直進をあきらめて交差点を右に曲がる。

少し行くと車道左側に坂道が現れる。急な坂道にはコンクリートに滑り止めの溝が付いているかなりの坂道だ。

慎重に降りると、すぐに目の前に広い河原の河川敷が広がっている。右には公衆トイレもあり安心だ。広いウッドデッキがあつてここからの眺めもなかなか

いい感じだ。その先、コンクリートの傾斜のあるノリ面を降りれば草や石ころの広い河原のエリアだ。

9時22分、河原に到着。ゆっくり歩いて駅から17分でした。

飯能河原は以前とは川の流れがだいぶ変わっていた。以前はもう少し流れが東寄りだったが、今は西の岸に近いところを流れている。

20年以上前だと思うが、田村さん、浮田さんなどと、何度もよくここで直火の焚火をしていた。（今は直火禁止だ）大野さんが落ち葉をたくさん集めてごうと焚火をしたこともあった。浮田さんはご飯を炊くときにはお米を研いでくれたり、またいい薪があつたといつても運ばない電柱のようなものを持ってこようと言つたこともあつた。

久しぶりの飯能河原だがやはりいいところだ。

河原に降りると手前のすぐ縁が小さな沢になっていて、クレソンが生えていて、メダカの群れが泳いでいた。子供た



ちの遊び場としてもとてもいいところだ。

9時半前だが、すでに一人の男性が腰を下ろして、落ち着いて楽しんでいるようだ。他にはまだ誰もいなかった。昼頃になるとかなりの人が河原のあちこちで焚火を楽しんでいるようで、いつの間にかあちこちから煙が立ち上っていた。小さな橋の先、西側の川向うにはデイキャンプのお店があり、バーベキュー用のテントがい

川名夫妻、星野親子、和田、宗像の6名からそれぞれ1000円合計6000円いただきました。芋煮会の残金280円を会計に繰り入れました。(お詫び)前回のニュースの現在高が間違っていました。

収支	
繰越	22505 円
収入	6280 円
支出	
News/HP 作成費	500 円
当日プリント代	200 円
現在高	28085 円

のテントがい

くつも立っていて、予約すれば手ぶらでバーベキューが楽しめるようだ。河原の東寄りに陣取る。少し足元には草があり、石ころだらけの川近くよりは快適だ。お店に薪を売っているということなので、和田さんに頼んで買ってきていただく。

針葉樹の薪が一束500円だ。

少し歩きたいという6名は天覧山に散歩に出かけた。残り4人は焚火と焼き芋の準備。焚火台を置いて薪に火をつける。一通り燃えて熾火が出来たところであらかじめ湿らせた紙を巻いてアルミホイルに包んでおいたサツマイモ(千葉県産シルクスイート)を4人分並べる。そのうえでまた薪を乗せて20分ほどで焼き芋は完成。丁寧に作ったのでとてもうまく出来た。甘くしつとりと、しかもホクホクとしてとても美味しい。持参の焼酎と一緒にいただくともうまい。焚火の前でのんびりと散歩組を待つ。

10時20分頃、天覧山から散歩組が帰ってきた。いよいよ芋煮の開始だ。宗像、神吉を中心に料理は進む。鍋に火が入り、材料が加えられてゆく。

材料の分担は以下の通り、太田(キノコ)、星野(幸)(里

2023年の幕開けは、1月15日(日)倉岳山(990m)から富士山を拝みます。

レギュラーコース 歩行約4時間半(上り2時間半、下り2時間)

中央線、梁川駅から登り、立野峠経由で倉岳山頂へ、下山は鳥沢駅に向かいます。

積雪も予想されます、防寒対策と軽アイゼン持参!

○持ち物 軽アイゼン、昼食、飲料水、非常食、マスク(予備マスク)、傘、雨具、着替え、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

※申し込み締め切りは 1月13日(金)

集合 1月15日(日)
京王線新宿駅 7:10 発
特急高尾山口行き(前から3両目)
途中駅発 笹塚 7:15 明大前 7:17
千歳烏山 7:22 調布 7:28 府中 7:34
分倍河原 7:36 聖蹟桜ヶ丘 7:39
高幡不動 7:43 北野 7:49
高尾 7:59 着(JR 乗り換え)
8:21 発 大月行き 梁川 8:45 着
交通費 新宿~梁川 片道785円

●お申し込み・お問い合わせ
Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸
戸丸携帯 090-4541-7066
携帯メール: satorutomaru@gmail.com
メール: tomarusatoru@hotmail.com
箱根組ホームページ
https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi



芋)、宗像(こんにゃく)、川名夫人(しめじ、舞茸)、神山(焼き豆腐)、星野(絵うどん)、布施(牛肉)、和田(ごぼう)、神吉(長ネギ)、戸丸(麺つゆ、焼きいも用サツマイモ)。

焚火班は6名分の焼き芋を慎重に焼



いてゆく。(以前は真っ黒で炭になっていたこともあった。)

アルコールは、ビール、焼酎、日本酒、梅酒などを楽しむ。

そうこうしているうちに芋煮が完成。みんな美味しい美味しいと言って食べている。確かに一人用で作ってもこんなには美味しくできないとおもう。

メインテーブル(シート)の上には持ち寄りの美味しいお惣菜が並んでいる。6名分の焼き芋もうまく出来上がった。お腹いっぱい焚火の周りでのんびり



する。

しばらくして少しお腹もすいてきた? ということでうどんに取りかかると。残ったおつゆにうどんを投入して火を入れる。これまた美味しいがお腹はもういっぱいだ。

2時20分、記念撮影をして、後片付け。火の始末もしっかりする。

2時40分、河原を出発。飯能駅に戻って帰路に就く。

